

JT

COMPLIANCE BOOK



JTグループ
行動規範 2018
私たちの約束と具体的な行動

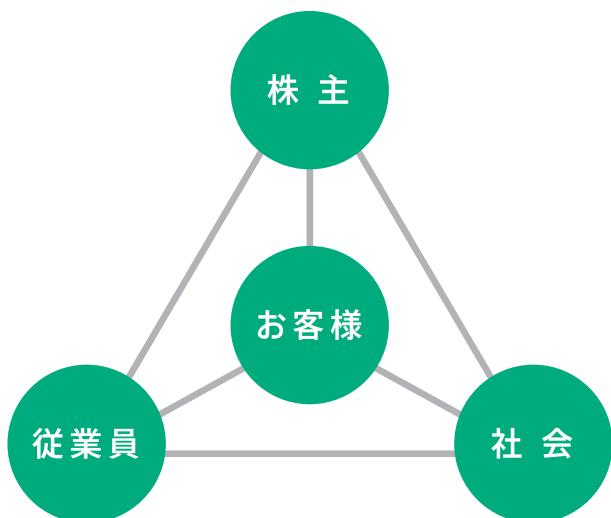
JTグループの経営理念(4Sモデル)

お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく

■ 4Sモデルを通じ、中長期の持続的な利益成長を実現

- ・お客様に新たな価値・満足を継続的に提供
- ・中長期的視点から、将来の利益成長に向けた事業投資を実行

■ 4Sモデルの追求が、中長期に亘る企業価値の継続的な向上につながり、4者のステークホルダーにとって共通利益となるベストなアプローチであると確信



JTグループのみなさんへ

「JTグループ行動規範」は、JTグループで働く私たち一人ひとりがコンプライアンスを実践するための価値観・倫理観を具体化したものであり、私たちの日々の行動の基準となるものです。

JTグループは、お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていくことを経営理念(4Sモデル)として掲げています。

4Sモデルを通じ、中長期の持続的な利益成長を実現するための基盤となるのが、コンプライアンスです。JTグループを取り巻く環境が大変厳しくなる中、私たち一人ひとりがJTグループの一員として価値観・倫理観を共有して、日々の業務に取り組むことがこれまで以上に大切になります。

JTグループの存在を支えているのは、私たち一人ひとりの行動です。高い意識に裏付けられた一人ひとりの行動が、JTグループの経営の基盤をより強固にし、お客様、株主、従業員、社会の4者から高い信頼を得ることができると確信しています。

「JTグループ行動規範」を熟読し、また定期的に読み返すことで、コンプライアンスの姿勢を体得し、実践するようお願いします。これらを実践するなかで、判断に迷うとき、あるいは、JTグループ行動規範に違反する行為や違反するおそれのある行為があれば、上司またはコンプライアンス相談・通報窓口に相談してください。私たち両名もJTグループのコンプライアンスを率先して実践していくことを宣言します。



JTグループコンプライアンス委員会

委員長

岩井 睦雄

執行代表

寺畠 正道

委員長
岩井 睦雄

執行代表
寺畠 正道

目次

コンプライアンスとは	P4
私たちの約束	P5
具体的な行動	P7
利用方法	P29
適用対象者	P29
違反時の対応と罰則	P29
注意事項	P29

コンプライアンスとは

私たちJTグループは、仕事を通じてお客様や社会に何を提供し、どのように貢献していくのか、という「企業の存在意義」を〈JT Group Purpose〉として世の中に広く宣言しています。そして〈JT Group Purpose〉を実現するための基盤となるのが〈コンプライアンス〉です。

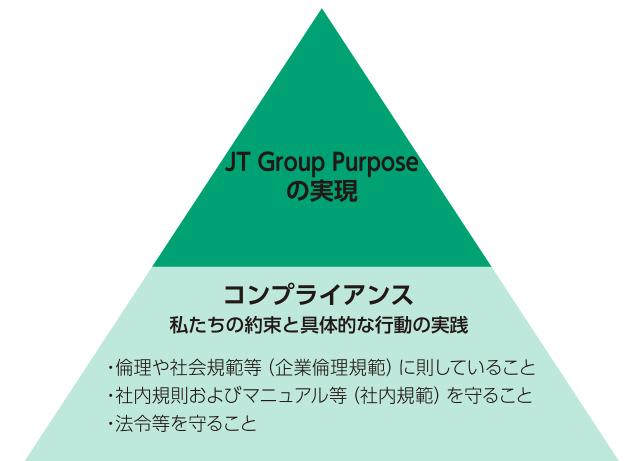
コンプライアンス(compliance)は、一般的には「法令を守ること」と訳されますが、私たちJTグループでは各國法令・社会ルールを守ることはもちろんのこと、より広い意味で次のように定義しています。

〈JTグループのコンプライアンス〉

「JT Group Purpose を共有し、より良き企業人、より良き社会人であるために求められる価値観・倫理観に基づいた行動の実践」である。

そして、JTグループとしての共通の価値観・倫理観をまとめたものが、行動規範です。行動規範は、私たちJTグループのすべての役員・社員が日々、誠実かつ適切な行動をするための価値観・倫理観を具体化したものであり、行動のよりどころとなるものです。

行動規範では、私たち一人ひとりの各ステークホルダーに対する責任を一人ひとりの行動の基本方針「私たちの約束」として明示しています。「私たちの約束」を実現するための行動を例示列挙したものが「具体的な行動」です。私たちの日々の行動は、まさにこの「具体的な行動」に沿ったものであることが求められています。



私たちの約束

お客様への約束

- お客様の立場に立って行動します。
- お客様の満足・信頼を大切にし、
安全・安心で高品質の商品・サービスを提供します。
- お客様に誤解を与えることなく、役立つ正しい情報を提供します。



社員お互いの約束

- 多様な考え方や価値観を尊重します。
- ハラスメントのない、働きやすい安全な職場環境づくりに努めます。



株主への約束

- 会社への正しい理解と評価を得るために、
適時・適切に情報を開示します。
- 株主の利益を考え、高い倫理観と責任感を持って業務を行います。
- 繼続的に企業価値を高めることを追求します。



社会への約束

- 人権を尊重し、お互いの個性や人格を大切にします。
- 社会から疑惑や不信を招かないよう行動します。
- すべての取引先と公正な取引関係を築きます。
- 公正かつ透明な取引を通じて、最良・最適な資源を調達します。
- 「良き企業市民」として、より良い環境と社会の創造に向け、
地球環境保全と社会貢献に取り組みます。
- 未成年者の喫煙防止、社会が期待する喫煙環境づくりに取り組みます。



具体的な行動

1 誠実な対応	P9	16 ハラスメントの禁止	P18
2 品質の保証	P9	17 プライバシーの保護・尊重	P19
3 商品・サービスの表示・説明と広告	P10	18 職場環境の安全・衛生	P20
4 お客様情報の取り扱い	P10	19 健康の保持・増進	P20
5 適切な広報活動	P11	20 人権尊重	P21
6 情報の適時・適切な開示	P11	21 差別の禁止	P22
7 適切な会計処理	P12	22 児童労働・強制労働の禁止	P22
8 守秘義務	P12	23 社会の一員としての良識ある行動	P23
9 インサイダー取引の禁止	P13	24 贈収賄の禁止	P24
10 適切な文書・情報管理	P14	25 節度ある接待・贈答	P25
11 会社財産の適切な使用	P15	26 反社会的勢力との関係遮断	P26
12 知的財産権の保護・尊重	P15	27 公正な市場取引	P27
13 責任ある業務遂行	P16	28 適切な調達活動	P27
14 公私のけじめ	P16	29 環境に配慮した活動	P28
15 多様性の尊重	P17	30 社会貢献	P28

1 誠実な対応

お客様の「声」を聞く

お客様の「声」に誠実に耳を傾けて、お客様の信頼と期待に応えます。お客様の「声」を貴重な「情報」として役立て、より高い満足をお客様に提供します。



具体例

- お客様の立場に立って、「お客様のために何ができるか」を考える
- お客様への対応は、事実に基づいて適切に行う
- お客様の「声」の真意をきちんと理解して、対応する
- お客様の「声」を軽視したり、放置したりしない
- お客様の「声」を関係部署間で共有して、今後の業務に活かす

2 品質の保証

品質に責任を持つ

品質にこだわり、お客様に安全・安心で
高品質の商品・サービスを提供します。



具体例

- 品質の確認や管理を徹底し、お客様の安全・安心を第一に考える
- 「商品に安全上の問題がある」「商品に欠陥があるかもしれない」と
思った場合は、速やかに上司や関係部署に報告する
- 事故のおそれが生じたり事故が発生したりした場合は、
お客様の安全・安心を第一に考え、速やかに対応する
- 業務効率やコストを優先するあまり、
商品・サービスの品質、安全・安心を犠牲にしない
- 商品・サービスについて、勝手に判断したり、
都合の良い評価をしたりしない

3

商品・サービスの表示・説明と広告

商品・サービスを正しく伝える

お客様に商品・サービスの
正しい情報を誠実に提供します。



具体例

- 商品・サービスの正しい知識を身につける
- 商品・サービスの表示や説明、広告は、お客様にとってわかりやすいものにする
- 事実に基づかない表示や説明、広告をしない
- 誤解を招いたり、不快に思われたりするような表示や説明、広告をしない
- 景品類の提供を行う場合は、関連する法令・社内ルールを守る

4

お客様情報の取り扱い

お客様の情報を守る

お客様の情報を厳重に管理します。

利用目的の範囲を超えてお客様の情報を使用したり、
不正な手段を使って取得したりしません。



具体例

- お客様の情報の取得、管理や提供は、業務に必要な範囲を超えて行わない
- 不正な手段を使ってお客様の情報を取得しない
- お客様や行政からお客様の情報について問い合わせがあった場合は、
上司や関係部署に確認して、対応する
- 取得したお客様情報は、紛失、誤用や改変等の事故を防止するために、
厳重に管理する
- 本人の同意等の適切な手続きを経ることなく、
お客様の情報を第三者に提供しない
- お客様の情報が流出した場合、またはそのおそれがある場合、
速やかに上司や関係部署に報告する

5 適切な広報活動 会社のことを正しく伝える

一人ひとりが「会社の顔」であることを自覚し、
適切な広報活動を通じて、
会社への正しい理解と評価を得るよう努めます。



具体例

- 正しい理解と評価が得られるよう、適切な情報発信に努める
- 新聞・テレビ・雑誌などのマスコミ対応は、広報担当部署を通す
- 憶測を含むまたは私的な見解を話さない
- 誤解を与えるような回答をしない

6 情報の適時・適切な開示 正しい情報を開示する

会社の経営状況および企業活動に関する情報について、
株主の正しい理解と評価を得るために、
適時・適切に開示します。



具体例

- 情報を開示する場合は、事実に基づく正しい情報を、隠さず、迅速、且つ公平に開示する
- 事前に社内の承認を得た範囲内で、情報を開示する
- 情報を開示すべきか判断に迷う場合は、事前に上司や関係部署に確認する

7 適切な会計処理 適切な会計処理を行う

適切な財務報告を行うため、
定められたルールに従って会計処理を行います。



具体例

- 会計処理は、公正妥当な企業会計の慣行に従う
- 「JTグループ会計処理指針」や各社の経理規程に従って会計処理を行う
- 定められた権限と責任の範囲内で会計処理を行う
- 取引が発生した際には、その会計情報を適時・適切に経理担当部署に伝達する
- 会計処理の根拠となった資料は、適切に保存・管理する
- 税法に従って適切に申告や納税を行う

8 守秘義務 情報を漏らさない

守秘すべき情報は厳重に管理し、
決して正当な理由なく他に漏らしません。
また、取引先などにも秘密保持を求めます。



具体例

- どの情報を守秘すべきかはっきり認識し、把握する
- 守秘すべき情報は、ルールに従って利用する
- 法令に基づく調査を求められた場合は、上司や関係部署に報告する
- 電車やバスの車内、飲食店などで守秘すべき情報を口外しない
- インターネット上に不適切な情報の書き込みや登録をしない
- ソーシャルメディアには、上司の事前の承認なく、業務に関する情報を決して投稿しない
- 職務に関し知ることのできた秘密を退職後も漏らさない

9

インサイダー取引の禁止

インサイダー取引をしない

JTの株式のみならず、あらゆる上場会社等の
株式等について、インサイダー取引、
また、その疑いを持たれるような取引をしません。



具体例

- 未公表の重要事実(インサイダー情報)を、業務上必要のない社員に口外しない
- インサイダー情報を、取引先・家族・友人などの第三者に口外しない
- インサイダー情報を知りながら、株式等を売買しない
- インサイダー情報を知りながら、第三者に株式等の売買を勧めない
- 株式等を売買する場合は、インサイダー取引に該当しないかどうかを確認する
- インサイダー取引の疑いがある場合は、事前に上司や関係部署に確認する

【インサイダー取引とは】

役員・社員(派遣社員、パート社員なども含む)といった会社関係者が、あらゆる上場会社等の「未公表の重要事実」(インサイダー情報)を知った場合、その情報の公表前に、その会社の株式等を売買することをいいます。会社関係者が第三者にインサイダー情報を伝達し、株式等の売買が行われた場合、情報伝達者、および受領者の双方が、インサイダー取引規制の対象となります。

10

適切な文書・情報管理

文書・情報をきちんと管理する

文書・情報の重要性を認識し、適切な管理に努めます。



具体例

- 文書・情報を定められたルールに従って管理し、適切に取り扱う
- 機密情報には施錠やパスワード設定などを実施し、不正使用から保護する
- 紛失や盗難を防止するため、パソコン・携帯電話などの携帯情報端末は厳重に管理する
- 離席時には、机上の文書やパソコンのセキュリティを確保する
- 電子メール誤送信防止のため、送信前に宛先を十分確認する
- ウイルス対策ソフトウェアを適時更新して最新の状態を維持する
- 業務で知り得た情報は、原則として社内で取り扱い、社外へ持ち出す場合は、事前に上司の承認を得る
- 持ち出す情報は必要最低限にとどめ、紛失、盗難に十分注意する
- 保存年限を経過した情報は、適切に廃棄する
- 裁判・行政手続きなどの対応として個別の文書保存が必要な場合、適切な対応をする
- 余分な資料などの不必要的文書は作成しない
- 私物のパソコンやUSBメモリなどの情報機器を業務で利用しない
- 情報の漏えい・紛失、ウイルス感染など情報セキュリティ事故が発生した場合、またはそのおそれがある場合、速やかに上司や関係部署に報告する

11

会社財産の適切な使用 会社の財産を大切に扱う

会社財産を適切に管理し、
業務以外の目的では使いません。



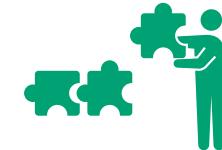
具体例

- 会社財産は有形・無形を問わず、その重要性に即した適切な管理をする
- 決められた手続きに従って、会社財産を権限の範囲内で大切に使う
- 費用に対して得られる効果を意識し、会社財産を効率的に使う
- 会社財産を壊したり、なくしたりしない

13

責任ある業務遂行 責任を持って業務を行う

業務遂行にあたって、自分の責任・権限を
十分に理解します。関連する法令・社内ルールを守り、
効率的に業務を行います。



具体例

- 業務上の判断は、適切な資料をもとに、法令・社内ルールに従って行う
- 会社の利益に反するおそれのある行為や業務をしない
- 与えられた権限を越えた契約行為をしない
- 効率的に業務を行い、不要な残業をしない
- 会社の承認を得ずに、会社の業務と利害関係(直接的または間接的)のある取引をしない
- 取引先の信用状況などを把握し、与信管理や債権管理を徹底する

12

知的財産権の保護・尊重 さまざまな知的財産権を守る

著作権、特許権、商号や商標権などのさまざまな
知的財産権を尊重します。会社の知的財産の保護に
努めるとともに、他者の権利も侵害しないよう注意します。



具体例

- 知的財産権の重要性を十分に理解し、有効に活用する
- 知的財産(文章の引用、図面、キャラクター、技術情報、ノウハウ、
ロゴやデザイン等)を利用する場合は、事前に上司や関係部署に確認する
- 雑誌や新聞、地図などを違法に使わない
- コンピュータープログラムを違法にコピーしない
- パソコンのソフトウェアはライセンス数を超過して使わない

14

公私のけじめ 公私を区別する

会社の立場と私的な個人としての立場をはっきり区別して、
職場内に私的な利害関係を持ち込んだり、
職場外に会社の立場を持ち込んだりしません。
また、そのような誤解を受けるような行動をしません。



具体例

- 電子メールやインターネットを、業務に必要な範囲内で使う
- 会社のパソコンを上司に報告なく、無断で持ち帰り、業務を行わない
- 会社の経費を不正に流用しない
- 会社の中などで、個人の思想・信条に関する勧誘や個人的な物品の
販売をしない
- 業務に支障をきたす私語や私用電話をしない

15

多様性の尊重

多様な価値観を尊重する

性別、性自認、性的指向や年齢、国籍だけではなく、経験、専門性など、異なる背景や価値観を尊重し、お互いの違いに価値を認めて、個々人が能力を発揮できる職場づくりに努めます。



具体例

- 多様な人財が集まっているからこそ生まれる強みを理解する
- それぞれのライフスタイルや価値観の多様性を尊重し、協力し合う組織風土をつくる
- 「思い込み」を排除し、相手の立場や状況、価値観を受けとめ、対話することで新たな価値を創造する
- 仕事と、出産・育児や介護の両立が出来るよう、十分に配慮する

16

ハラスメントの禁止

相手が嫌がることをしない

セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティ・パタニティハラスメントなどのハラスメントは、どのような形であっても決してしません。また、どのようなハラスメントも許しません。



具体例

- 職場内において、思いやりのある言動と健全なコミュニケーションを心がけ、信頼関係を築く
- 相手の受けとめ方に十分配慮したコミュニケーションをする
- 職場における優位な立場などを利用してハラスメントをしない(※)
- 個人の身体的あるいは性格的な特徴について、悪い冗談を言ったり、からかったりしない
- 就業時間外の飲食や遊興を強要しない
- 雇用条件への利益や不利益を条件に、プライベートな関係を持ちかけない
- 個人的な価値観で、性別による固定的な役割を決めつけない
- 不快な話題をふられたり、嫌な思いをしたりした場合は、「NO」という意思をはっきり示す
- ハラスメントを見て見ぬふりをしない

※【「職場における優位な立場」とは】

一般的に、ハラスメントは上司から部下に対して行われる場合が多いものの、先輩・後輩間や正社員・非正社員間、同僚間、あるいは部下から上司に行われることもあります。業務経験や知識、人間関係などの違いにより、一方が他方に対し優位性を持つ場合もあります。



17

プライバシーの保護・尊重 プライバシーを守る

従業員個人のプライバシーを最大限に尊重し、不當に侵害しません。正当な理由や本人の同意なく(意に反して)、従業員に関する個人情報を本来の目的以外で利用し、また、本人以外への開示をしません。



具体例

- プライバシーを侵害しないよう、個人情報の適切な取り扱いを徹底する
- 相手の同意なく、私生活に立ち入らない
- 他人の私生活に関するこどを口外しない
- 個人情報や肖像(写真や画像)などを本人に無断で利用したり、インターネットの掲示板やSNSに投稿しない

18

職場環境の安全・衛生 安全で衛生的な職場をつくる

職場環境に関する法令・社内ルールを守り、風通しが良く、安全で衛生的な職場をつくります。



具体例

- 快適で清潔な職場づくりを従業員同士で心がける
- 健全なコミュニケーションを心がけ、明るい職場をつくる
- 安全に关心を持ち、労働災害防止に努め、より良い職場環境をつくる
- 事故・トラブルが発生した場合は、速やかに対応する
- アルコールの摂取や医薬品の服用が、業務の安全な遂行に悪影響を及ぼすおそれがあることに留意する
- 職場内の喫煙ルールを守る
- 職場における危険や不衛生な状況を放置しない
- 組織や個人の都合を優先し、法令・社内ルールを軽視しない

19

健康の保持・増進 心身の健康の保持・増進に努める

一人ひとりが健康への意識を高め、自らの健康の保持・増進に努めます。



具体例

- 健康診断を受診して自らの健康状況を把握し、健康管理に努める
- 自らの健康保持・増進に対する意識向上に努める
- 長時間労働が健康障害の発生リスクを高くすることを認識する

20

人権尊重

すべてのステークホルダーの人権を尊重する

人権に関する国際規範を支持・尊重し、JTグループ人権方針に従います。

従業員、お客様、サプライヤーはじめとしたお取引先様と

そこで働く人々、事業展開地域のコミュニティなど、事業活動を

行う上で関係するさまざまなステークホルダーの人権を尊重します。



具体例

- 事業活動に関わるステークホルダーの人権を侵害する行動をしない。
また、人権を侵害する行動に加担しない
- JTグループの事業が人権に及ぼす影響について、影響を受ける人々の視点
から理解し、対処できるよう、ステークホルダーとの対話をつねに心がける
- 人権に関わるさまざまな課題について、私たち一人ひとりが取り組むべき
問題として考える

【JTグループ人権方針とは】

JTグループ人権方針は、国際規範である「ビジネスと人権に関する国連指導原則」に則って策定されており、私たちが4Sモデルに基づき事業活動を行う上で、人権の尊重についてどのように取り組んでいくかについて明確にしたもので



21

差別の禁止

差別や個人の尊厳を傷つける行為を行わない

人種・民族・国籍・信条・宗教・性別・

性的指向・出身地・年齢・疾病・障がい・

雇用形態などによる差別や

個人の尊厳を傷つける行為は行いません。



具体例

- 相手を尊重し、いかなる差別も行わない
- 多様な個性を尊重し、違いを認め合う
- 個人的な信条や価値観を強要しない
- 差別や嫌がらせを見て見ぬふりをしない

22

児童労働・強制労働の禁止

児童労働・強制労働をさせない

人権侵害につながる

児童労働・強制労働を許しません。



具体例

- 児童労働・強制労働を禁止した国際規範・条約・法令を遵守する
- 各国の法令が定める最低就業年齢に満たない児童に労働をさせない
- 各国の外国人雇用に関する法令を遵守する
- 本人の意思に反して強制的に労働をさせない

23

社会の一員としての良識ある行動

誠実さと倫理観を持って行動する

事業活動のみならず、日常生活においても、
社会人・企業人として自覚を持ち、
各国の法令や社会規範に従って行動します。



具体例

- 交通ルールを守り、安全運転に努める
- 飲酒運転を含む危険運転は決してしない
- 違法薬物や規制薬物に決して手を出さない
- 犯罪行為や暴力ざたを起こさない
- 喫煙ルールを守る



24

贈収賄の禁止

贈収賄行為および贈収賄に 該当するおそれのある行為を行わない

費用を会社が負担するか、個人が負担するか、
また直接的か、間接的かにかかわらず、
いかなる形式の賄賂（賄賂とみなされる
おそれのあるものも含む）も受領・提供をしません。



具体例

- 相手が公務員か民間人であるかを問わず、賄賂の提供や提示を行わない
(代理人などの第三者を通じて行う場合も同じ)
- ファシリテーションペイメント（多くの国・地域において賄賂とみなされる、
行政手続きを迅速化または円滑化するための少額の支払い）をしない
- 取引の開始または維持を希望する企業または個人から、
その見返りとして賄賂を受け取ったり、要求したりしない
- 政治活動に関して、法令が禁止している寄付をしない

【留意事項】

JT社員等(役員およびJTと雇用関係にある一切の者)は、日本たばこ産業株式会社法によって、賄賂の授受に係る罰則が特別に定められています。

25

節度ある接待・贈答 接待・贈答に節度を持つ

節度を超えて接待・贈答を受けたり、行ったりしません。
また、接待・贈答を受けたり、行ったりする場合は、
法令や所定の社内ルールに従います。



具体例

- 接待・贈答を受ける場合も、行う場合も、社会常識や社会的儀礼の範囲内にとどめ、社内ルールに従って手続きを行う
- 受ける場合も行う場合も、現金または現金等価物(商品券・チケットなど)のやり取りをしない
- 高い頻度で、特定の相手先との間で接待・贈答を受けたり、行ったりしない
- 公務員や公務員に準ずる者に対して禁止された接待・贈答を行わない
- 受ける場合も行う場合も、記録を残す
- 接待・贈答が、業務における意思決定上の判断に影響していないことを、合理的に説明できるようにする

26

反社会的勢力との関係遮断 反社会的勢力との一切の関係を遮断する

市民社会をおびやかすような反社会的勢力とは、
一切の関係を遮断します。
反社会的勢力からの不当な要求には応じません。
また、密輸や偽造などの違法取引に関わる組織とは
断固として対決します。



具体例

- 「金を出さない」「利用しない」「恐れない」「交際しない」を基本原則として、毅然とした態度で組織的に対応する
- 契約書には、反社会的勢力排除条項を盛り込む
- 契約を締結する前に、「反社会的勢力でないこと等に関する表明・確約書」を受領する
- 心当たりのない書籍や雑誌の送りつけ、セミナー案内には、受け取りを拒否するなどして関係を持たないようにする
- 電話による不当な要求・勧誘等に対しても、あやふやな返事をせず、きっぱりと拒否する
- トラブルに巻き込まれた場合は、個人での対応を避け、速やかに上司および対応部署に相談する

【反社会的勢力排除条項とは】

①自らが反社会的勢力ではないことの宣言、②契約相手が反社会的勢力であることが判明したときは通知、催告その他何らかの手続きを要することなく契約を解除できること、などの反社会的勢力を排除するために必要な内容が記載された条項をいいます。



27 公正な市場取引 公正な取引をする

公正な市場競争を通じて、商品・サービスを適正な条件で提供します。



具体例

- 公正な市場競争に関する法令や行政の取り組みを理解し、確認する
- 法令等により禁止されている不公正な取引方法に該当するか否かは、個人で判断せず、上司や関係部署に確認する
- 不当な手段・方法により競争相手の事業活動を妨げるような行為をしない
- 取引上の優位な立場を不当に利用しない
- 取引先に対して、一方的で不合理な取引条件を押し付けない

29 環境に配慮した活動 より良い環境づくりに取り組む

健全で豊かな環境が将来の世代に引き継がれるよう、より良い環境づくりに取り組みます。



具体例

- 「JTグループ環境憲章」に従って、事業活動と環境との調和に配慮して行動する
- 温室効果ガスの排出を抑えるよう、省エネエネルギーを意識し、燃料や電気の使用効率化に取り組む
- 環境と生態系への影響を抑えるため、排気、排水、廃棄物を正しい手続きで処理する
- 廃棄物の3R(発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle))により、資源の有効利用に取り組む
- 水資源を守るため、節水や再利用に取り組む

28 適切な調達活動 適切な調達をする

購買先や業務委託先などの調達先を公正かつ透明な評価に基づいて選定し、取引します。



具体例

- 「JTグループ調達基本方針」に従って、調達活動を行う
- 調達先との取引においては、品質・コスト・納期・安定供給能力を考慮するとともに、「JTグループサプライヤー行動規範」の遵守状況も重視する
- 調達先から入手した情報を適切に管理する
- 定期的に調達先の評価を行い、必要に応じて見直す
- なれ合いや個人的な判断で調達先を選ばない
- 下請取引は公正に行い、下請事業者の利益を保護する

30 社会貢献 社会貢献活動を実践する

「良き企業市民」の一員として、より良い地域社会の実現を目指し、社会貢献活動に取り組みます。



具体例

- 社会問題に关心を持ち、事業を展開する地域社会のニーズを理解する
- 会社が取り組んでいる社会貢献活動の内容を理解する
- 「良き企業市民」の一員として、社会貢献活動に自ら参画する

利用方法・適用対象者・違反時の対応と罰則・注意事項

利用方法

本冊子は、JTグループ内でのみ使用されるものとします。書き込みをしても、自宅へ持ち帰っても構いませんので、十分に活用してください。派遣社員など、JTグループの業務に携わる方にも必要に応じてお渡しします。退職時には、所属する職場のコンプライアンス担当者または上司に返却してください。

適用対象者

本冊子に記載されていることが適用されるのは、本冊子が配付されたJTグループ会社の役員・社員（パート社員・契約社員などを含む）です。

違反時の対応と罰則

記載されていることに違反した場合は、就業規則などによる処分の対象となることがあります。また、会社に対して経済的損害を与えた場合は、会社が損害賠償を請求することもあります。

注意事項

- 行動規範に示されている基準は網羅的なものではありません。
日常の業務においては、行動規範の他に法令や社内ルールにも沿った行動を実践してください。
- 行動規範に掲載されている内容などで判断に迷った場合には、
上司や関係部署に相談してください。

私たちの約束

私は、「JTグループ行動規範 2018」を受領しました。

私は、本冊子にある「私たちの約束と具体的な行動」の内容を理解し、JTグループのコンプライアンス「JT Group Purposeを共有し、より良き企業人、より良き社会人であるために求められる価値観・倫理観に基づいた行動の実践」を約束します。

署名欄